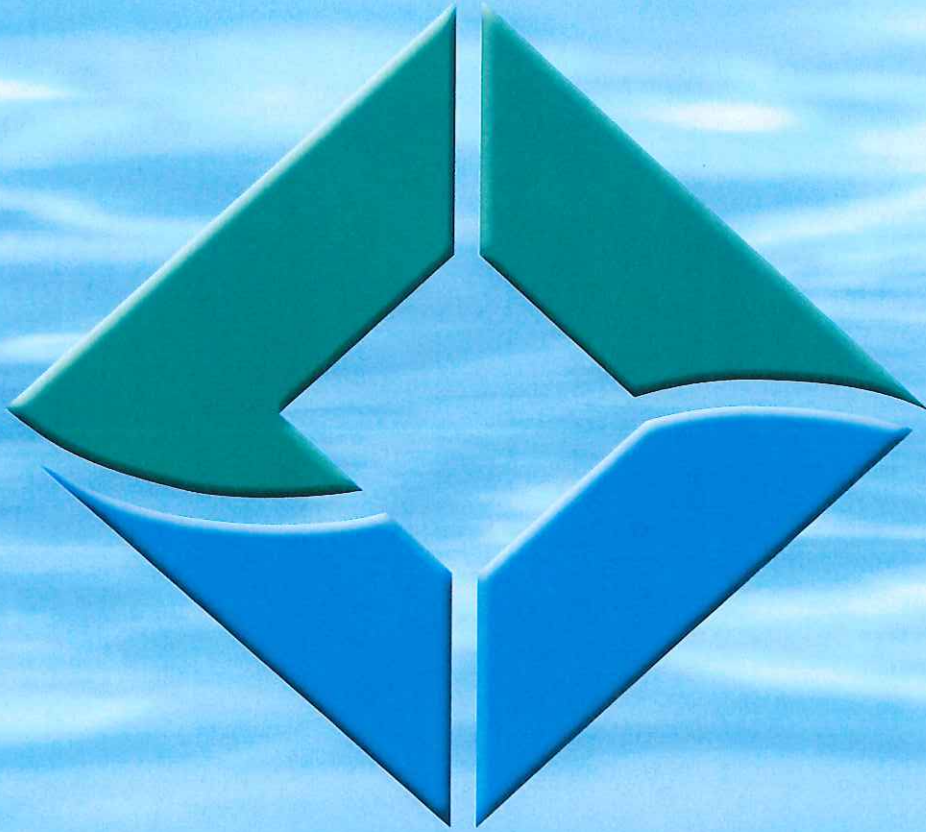




OVER the SEA

おかげさまで創立50周年



**IWAKI
TEC**

1957—2006…future

50年のあゆみ

おかげさまで
”利益の質“が良いんです。
これも、ずっと汗を
流してきたせいでしょうか。



代表取締役社長 山本新一



OVER the SEA



50年の 感謝とお礼を すべての方に…。

昭和32年3月、岩城島新地

—では

創立当時からのお話しを

山本 そうですねえ。もう50年が経ったのか、という思いが強いですね。当時、私は16歳でした。家業である芋菓子作りを手伝っていました。

—岩城島の昔からの名産ですね

山本 ええ、そのような毎日を送っていたのですが、私の

母である山本節美と叔父の亀井幸男が設立者となって岩城興業株式会社を起こしたのです。

—それが

昭和32年の3月だった

山本 はい、地元の技術者の援助などもあり、20名前後でスタートしたように記憶しています。艀装品を製造していましたがね。で、私も昭和36年に社員となりました。

好況の波が押し寄せる

—それから

4年後には因島に

山本 日立造船さんの音頭もありまして鉄工団地に重井工場（現因島工場）を新設しました。岩城では30トンぐらいのものしか作れなかったのですが、もつと大きいものに対応できるようにしました。

—そう言えば、

昭和38〜39年ごろは

山本 造船界の業績が右肩あがりの初め頃でしょうか。そのせいで造船所も隻数を増

やしたかったという事情があったのでしよう。

—今で言う

アウトソーシングですね

山本 そうです。我が社も順調に業績を伸ばしてきました。しかし、昭和48年にオイルショックに見舞われました。

不況こそチャンス！

—好事魔多し、とは

正にこのこと

山本 そうなんです。一社五千万円ぐらいの不渡り手形もあり…。いやあ苦しかったですねえ。岩城の本社工場を新設して間もなかったですから。

—それが今では

山本 振り返れば「不況がチャンス」だったのかもしれない。よく言われました「どうしてこの時期に設備投資を」と。

高精度、船倉のふた

—ハッチカバーの生産は

質・量とも日本一とか

山本 これはうれしかったですね。今治造船さんからのご注文が最初でした。幸いに『ひずみ矯正技術』など人材・技術・設備に恵まれました。

—では最後に

未来へ向けてのビジョンを

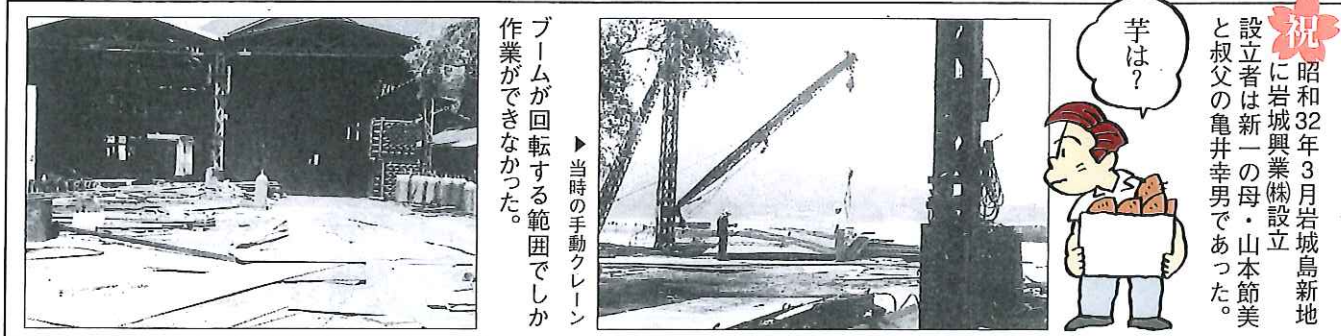
山本 船舶の大型化に伴い、平成17年に3000トンのクレーンを導入しました。今年には向島工場を稼働させました。これからはハッチカバーだけでなく難易度の高い特殊ブロックなど、携わる全分野でナンバーワンを目指したいものです。



黎明期

レモンの島—岩城島から

昭和32年3月



青いレモンの島—岩城島

青いレモンの島として知られる岩城島は柑橘類の栽培がさかんな島で、江戸時代は松山藩の島本陣がおかれていました。

島の中央にそびえる積善山は桜の名所として、またパラグライダーのポイントとして知られおり、頂上の展望台から見る360度のパノラマには目を眩るものがあります。

特産品としてレモン製品や芋菓子などがあります。



OVER the SEA

成長期

因島に因島工場を新設

昭和40年7月

昭和40年
日立造船さんの音頭のもと
因島鉄工団地へ
重井工場（現因島工場）を
新設。



なぜ因島に新工場を?

理由 その1

大手造船所の建造隻数増加の必要があったため。



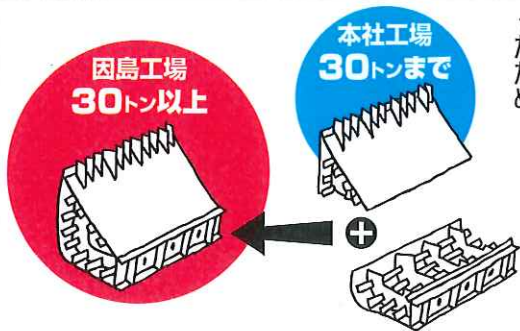
隻数増加のためアウトソーシングを

大手造船所が生産効率向上のため外部に発注するようになった。



理由 その2

本社工場では30トンぐらいの製品しか作られなかったため。



と、そういう理由で新工場ができたのです。



空前の造船ブームもあり業績は順調に推移。



昭和46年
本社工場を新設移転。

しかし

昭和50年代はじめ…

好事魔多しとは正にこのこと。
不良債権に悩まされた。



ふたたび

しかし…

今治造船さんよりいただいたハッチカバーなどの仕事があり、なんとか苦境を乗り切る。



ポンツーンタイプのハッチカバーの生産量、質とも日本一!

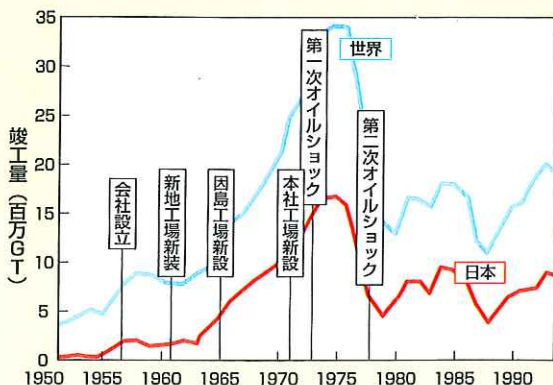
オンリーワン
ナンバーワン

ブランドができた。

これも皆様ののおかげ



世界の船舶建造量の推移



中国に合併会社を設立

平成5年、三菱重工業様・江南造船廠様と当社との合併で、張家港南菱城鋼構造有限公司を張家港市に設立。

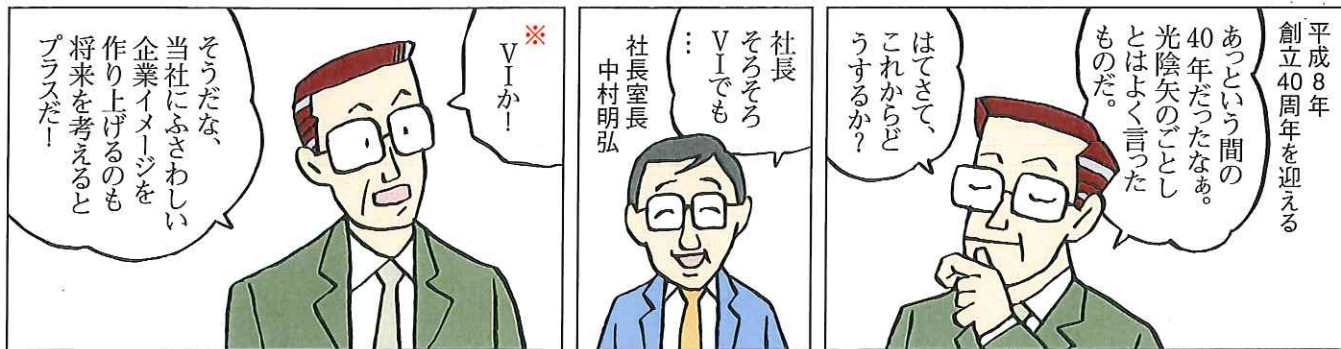


▲前列左端は山本社長

発展期

岩城興業からイワキテックへ

平成9年4月



ランク分けされたトン当たりの価格

イワキテック 8千円 がんばらなくちゃ	B社 9千円 まあまあかな	A社 1万円 たなからぼろもち
---------------------------	---------------------	-----------------------

当時はこんなふうでした



岩城興業からイワキテックへ
創立40周年時に制定されたロゴマーク

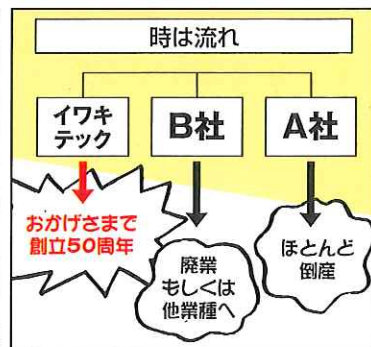
かくしてVIが実施される

イワキテック... うーん いい響きだ！

社長の格言

「利益の質が良い」んだー？!

デメリット転じてメリットとなる！



映画「男たちの大和」のロケ地跡に当社向島工場が

以前使用されていた日立造船様の向島西工場に「男たちの大和」のロケセットが設けられ大変な活況となっていたことは皆様ご存知の通りです。その場所一帯が、当社の向島工場として生まれ変わりました。これで、岩城島の本社工場・因島工場と併せ三大生産拠点が築かれ、お客さまのご要望に十分応えられる体制が整いました。

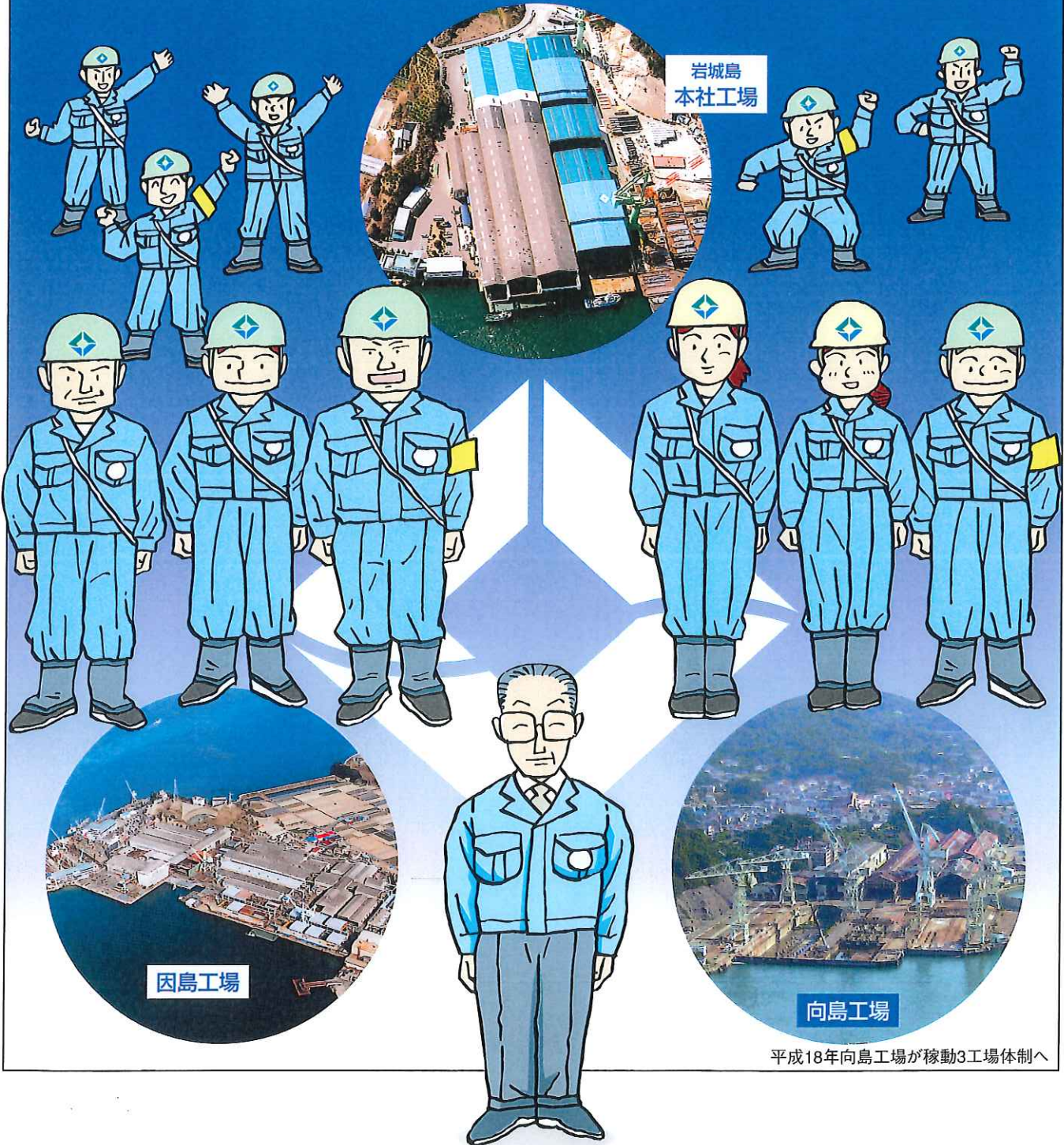
※ VI って？

VIとはVisual Identityの略で、企業のシンボルマークやロゴタイプなどの表示要素を統一し、企業イメージの改革・差別化や社員の意識高揚を図るためのデザイン戦略のことです。企業イメージや認知度をアップさせるのに効果がある手法です。



OVER the SEA

お客様あつてのイワキテックです。
これからもどうぞよろしくお願いします。



大海原を駆け抜けて…

平成18年10月

50年の感謝とお礼をすべての方に――。

イワキテック株式会社 代表取締役社長 山本新一



会社概要

会社名:イワキテック株式会社

本社:〒794-2410 愛媛県越智郡上島町岩城6017番地

本社工場 TEL (0897) 75-2121(代)

FAX (0897) 75-3157

因島工場:〒722-2198 広島県尾道市因島重井町474番地の7

TEL (0845) 25-1145(代)

FAX (0845) 25-1370

向島工場:〒722-0073 広島県尾道市向島町111番地

TEL (0848) 20-6040(代)

FAX (0848) 20-6045

資本金:8,580万円

営業品目:船用関連製品

・ハッチカバー ・リフトブルデッキ ・船体ブロック

・上部居住構造物 ・各種船舶装置

陸上機械関連製品

・コンテナクレーン ・鉄骨橋梁 ・発電用大形製品

・その他大形製品

建設業(愛媛県知事認可)

・建築工事業 ・鋼構造物工事業 ・塗装工事業

・管工事業 ・土木工事業 ・水道施設工事業ほか

沿革

昭和 32年 3月 岩城興業株式会社を愛媛県岩城島新地に創立

昭和 40年 7月 広島県因島市の因島鉄工団地に重井工場新設

昭和 46年 10月 岩城島船越に本社工場を建設し、新地から移転

昭和 47年 6月 船舶部を新設し、タグボート2隻、台船2隻建造運航

平成 2年 1月 大阪中小企業投資育成(株)の資本参加を得て、

新資本金8,580万円に増資

平成 5年 1月 中国に合弁会社設立(張家港南菱城鋼構造有限公司)

平成 9年 4月 イワキテック株式会社に社名変更並びに重井工場を

因島工場と改称

平成 10年 3月 本社工場に200トンジブクレーン、200トン定盤移動

式上屋 新設

平成 14年 7月 ISO9001認証取得

平成 18年 10月 広島県尾道市向島町に向島工場 新設

平成 18年 11月 創立50周年記念行事を催す